

2023 年 8/1(火)実施

24 目標 状況別セミナー

8・9月のポイント

セミナーの開催目的

I ゴールから逆算する p.3

短答・論文合格までに必要な3つの力

学習時、常に意識してほしいこと3つ

II 8・9月 状況別のポイント（短答リスタート生・上級講義受講中・短期集中生等） p.10

III アクセス・短答答練の準備・復習について p.19

巻末資料

サポート制度（LINE オープンチャット始動）

令和5年短答Ⅱ 正解率40%以上を全て正解すると…

定期的なセミナーの開催目的

2つの面で、時間対効果を高める

自習時の時間対効果

定期的に、時期ごとの目標・よくご相談いただく内容を共有



短期的・中期的ゴールが明確になる



学習方針などで 迷いや不安がなく、学習に集中 できる。

質問・相談などサポート利用時の時間対効果

☑学習ペースがずれたり成績が伸び悩んだ時にも…



定期的にセミナーで、
状況別の優先順位/スケジュールの組み方共有



自力でもある程度立て直せる ようになる。

質問・相談時、時間内で より具体的な話が可能 になる。

I ゴールから逆算する

短答・論文合格までに必要な3つの力

学習時 常に意識すること3つ

短答・論文合格までに必要な3つの力

- 1 理解 (丸暗記が減る・実務でも使える)
- 2 暗記/ピーク合わせ (事前の下準備・テキストへ一元化)
「見たらわかる」「知っている」だけでは不十分。
覚え切ることができるか？
本試験当日、【よどみなく】引き出せるか？
最後の2週間、ピークを合わせられるか？
- 3 試験中の行動 (時間配分・資料の読み取り・メンタル面)
得点に繋げ切ることができるか？

短答・論文共に、基礎的な問題を確実に取り切る

+

基礎の組み合わせで、応用問題にチャレンジする

▼

合 格

学習時 常に意識すること3つ

- ① 重要かつ苦手な分野に取り組んでいるか？
- ② 今、どのような力を伸ばそうとしているか？
- ③ インプット・アウトプットどちらかに偏っていないか？
テキスト中心/具体と抽象

学習時 常に意識すること①

「合格との距離を詰めるため、**重要** かつ **苦手** な分野に取り組んでいるか？」

短答論文共に、受験生の多くが正解する問題を取れば合格できる。

※巻末資料を参照。直近の短答式試験 正解率 40%以上を全て取ると危なげなく合格可能。

重要度を意識しつつ、苦手科目・論点をなくす。

まずは計算科目。併行して徐々に理論科目。

計算科目は、一度丁寧に演習・暗記に取り組めば、直前期のメンテが短時間で足りる性質有り。

例：アクセスや答練を一部解く→周辺を想起・テキスト点検により、10-12 日間で全論点1周

短答直前2ヶ月に理論科目(財理/企業/監査)へ自習の6-7割など充てられるように、今のうちに財務計算・管理を強化する。

9月末や10月上旬などまでは、計算科目に合わせて6-8割充てるケースも有り。

★ピークを合わせるため、

特に最後の2週間は、得意な論点もインプット・アウトプット点検。

学習時 常に意識すること②

「今、どのような力を伸ばそうとしているか？」

理解や暗記？暗記の下準備？試験中の行動？

例：解法や下書き自体の定着・・・アクセスなどを1・2週間ほど置いて繰り返し解き、テキストへ戻る
試験中の行動・やらかし対策・・・初見の問題か、1ヶ月以上解いていない問題で試す

関西岡本講師「何を変えれば短答に合格できるか？」セミナー ★初学者も冒頭 40 分を必ず視聴

会計士の仕事は、会社の存続に関わるケースもある重大な仕事。

そのような緊張感を持って、試験内容に照らして理にかなった学習ができていますか。

会計士としてどのような素養が求められており、受験勉強を通じて、どのように伸ばすか？

YouTube 動画・資料→https://youtu.be/Mkebd7_krFc



4. 公認会計士として必要な素養の例（私見）

- | | |
|--------------|-----------------|
| ①財務会計（計算）の知識 | ⑧スピード |
| ②財務会計（理論）の知識 | ⑨マルチタスク力 |
| ③管理会計の知識 | ⑩逆境力 |
| ④監査の知識 | ⑪度胸 |
| ⑤法律の知識 | ⑫決断力 |
| ⑥まとめさ | ⑬センス（後天的に身に付ける） |
| ⑦計画性 | ⑭国語力 |



短答・論文合格までに必要な3つの力 どのように伸ばすか？

典型論点・易しい箇所を絶対にする！

必要な力	目安となる状態	使う教材・サポート
テキストを理解	☒ テキストを読めば内容がわかる ☒ 比較が出来る（共通点・相違点） ☒ 具体例を挙げられる ☒ テキストを見ながらであれば、正解できる 規定の趣旨を言えるか？ ★基礎概念や理屈を理解すると、暗記量が減らせる。	講義受講(何度も受講し直すのは避ける) 質問(質問コーナー/質問ルーム/24 目標 LINE オープンチャット/質問メール) その他各種アウトプット教材⇔テキスト 理論科目 短答問題集…×の理由を考える。比較。 ★演習を通じてインプットの穴を探す。
理解に加えて、 本試験当日に テキストの内容を想起できる (暗記)	☒ 自力で初見の問題が正解できる ☒ 問題を解いた後（もしくは目次を見て）、 テキストの周辺論点が 場合分け で思い出せる ★ピーク合わせ…全体2週間以内、細かい暗記は付箋を貼って試験直前の数日以内に暗記など	各種アウトプット教材(問題集、答練、テキスト目次、財理章扉 word)をきっかけとして 繰り返し想起し、テキストへ戻る。 質問コーナーで章を指定して理解度チェックを依頼（口述式の問題演習）。 テキストチェックゼミ活用。
理解・暗記に加えて 大きなやらかしをせず 得点に繋げ切る (試験中の行動)	☒ やらかしミスの対策・工夫をしている ☒ 時間配分で崩れない、粘り過ぎない ☒ 正誤の判断能力 ※×を探す。○は積極的には判断しない。 【論文】問題文を読み、テキストのどこが問われているか掴める。素直に過不足なく答えられる。基準集が使える（監査論、租税法、財務理論、企業法）。	問題集・アクセス・答練・全国模試後に分析して修正行動を検討。★解き慣れていない問題で試す。 やらかしミスを分析し、対策をメモ。常に工夫。 （論文理論科目の場合、zoom 質問ルームや質問コーナーで答案のフィードバックを受けるなど）

学習時 常に意識すること③

特に、これまでの受験勉強の経験値が
あまり高くない場合に注意

「Output・Input どちらかに大きく偏っていないか？」

テキストを中心とした学習とは？…Output を通じて、(テキスト)の穴を探す。

具体的な問題をきっかけに、抽象的・一般的な記述であるテキストをつぶす。

自習の流れ

- ① 問題を解く。もしくはテキスト目次やキーワード一覧などから想起。
- ② テキスト【周辺論点】を場合分けて想起。
短答理論科目の場合、×の理由や規定の趣旨も想起
- ③ テキストに戻り、周辺の点検（出題された箇所や覚えにくい箇所を特定・マーク）
周辺論点を確認（比較しつつ）

【注意】テキスト中心の学習とは、単に「読み流す」学習ではない。

常にテキストを中心として、

様々なきっかけからテキストに戻ることで

より丁寧に理解・暗記（もしくは暗記/回転の下準備）。

Ⅱ 8・9月のポイント

初学者 現在上級講義を受講中の方の場合

短答リスタート生の場合

12月までのスケジュール概観

初学者 現在基礎マスター講義を受講中の方の場合

8・9月のポイント

初学者 現在上級講義を受講中の方の場合

※短答式試験の2ヶ月弱前には講義を受け終わりたい(租税・選択科目以外)

準備が多少不十分であっても、
自分の決めた日程で受けてしまうこと！
本試験までに効率的・効果的に力を伸ばせる。
アクセス・答練自体が復習教材として役立つ。

1 アクセスの準備・復習で計算強化。

財務計算・管理の短答アクセスで0ミス～1ミス程度におさえて上位になる！

2 理論科目については、理屈が説明できることを意識。

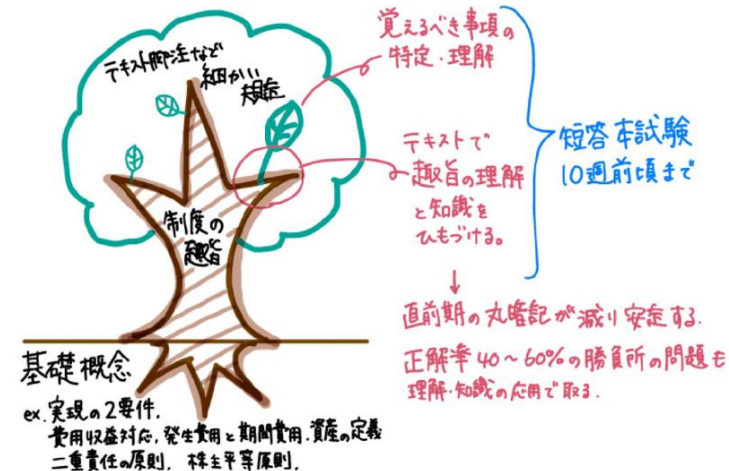
短答問題集に取り組む時も・・・×の理由を説明できるか？

【回転の下準備】

問題演習・テキスト復習で

細かい暗記が必要な対象を特定して、マークや付箋。

★納得感を高めて丸暗記を減らす。



3 全科目テキストを大事に、短答論文同時進行の意識で基礎固め。

問題集は、あくまでテキストの理解・暗記の穴や、アウトプット時の行動修正のきっかけとする。

8・9月のポイント 短答リスタート生の場合

準備が多少不十分であっても、
自分の決めた日程で受けてしまうこと！
本試験までに効率的・効果的に力を伸ばせる。
アクセス・答練自体が復習教材として役立つ。

1 計算強化。

財務計算・管理の短答アクセスで0ミス～1ミス程度におさえて上位になる！

2 理論科目については、理屈が説明できることを意識。

読んでも理解できないような箇所は、Web 論点別講義を活用。

短答対策講義は、初年度生向けの教材復習を優先した上で検討。

詳しくは、6 月末合格発表後実施「合格発表後リスタートセミナー」視聴。

3 全科目テキストを大事に、短答論文同時進行の意識で基礎固め。

問題集は、あくまでテキストの理解・暗記の穴や、

アウトプット時の行動修正のきっかけとする。

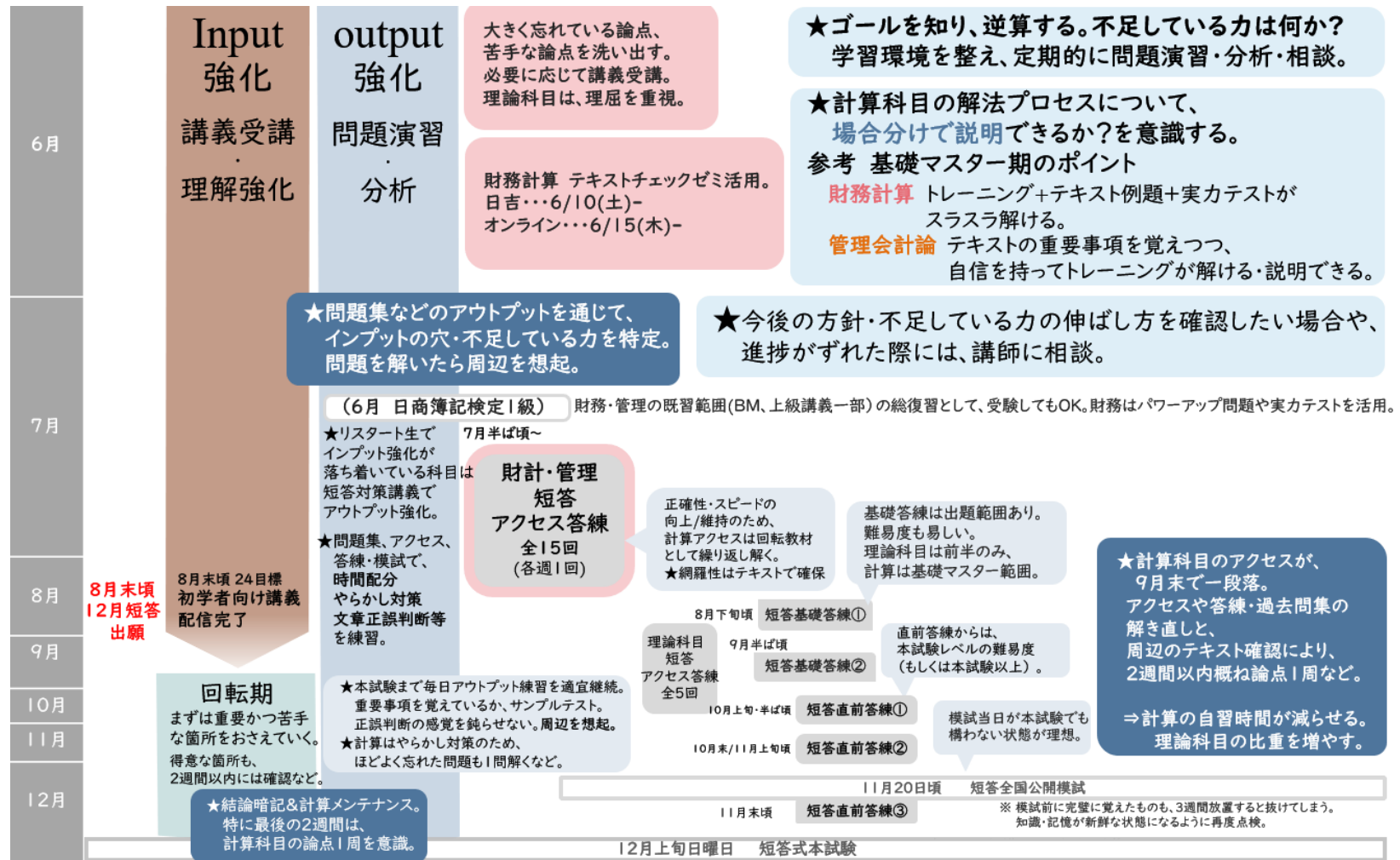
※テキストを見ながら5月短答本試験問題を復習。



解説 PDF [公認会計士 解答速報 | 第Ⅱ回短答式試験 | 資格の学校 TAC\[タック\] \(tac-school.co.jp\)](#)

短答リスタート生・現在上級講義を学習している方

12月短答までの大まかなスケジュールとポイント 概観



8・9月のポイント

現在財務計算基礎マスター講義を受講している方の場合 (24/25 チャレンジ本科生など)

1 目安として、短答式試験の2ヶ月弱前には講義を受け終わりたい(租税・選択科目以外)

- ★受講ペースを上げる場合も、講義週の計算トレーニング・実力テストまでの復習を徹底。目次学習を活用。
- ★時間が限られる分、自習の負荷・頻度を上げてカバーする。

現在基礎マスター2の場合、早稲田校 プレミアム/短期集中生の日程の組み方等を参考にする。

@C.P.A. 講義日程→24 目標→早稲田校

受講日程シミュレータを活用。

受講開始日・受講曜日・講義を受けない除外日を指定。

早稲田校	上級講義日程※租税法は入門基礎含む【各入門本科生共通日程】	(2023/07/28up)
	2年L・S本科生	(2023/03/10up)
	1.5年L本科生	(2023/02/15up)
	1.5年S・2.5年チャレンジ本科生	(2023/02/15up)
	早稲田プレミアム(短期集中・2年チャレンジ)本科生	(2023/07/04up)
	2年P本科生(リク'カス)【23・24目標】	(2022/11/16up)

2 完璧主義は避けて先へ進めつつ、振り返る復習を並行して進める。

特に財務計算・管理会計論。

- ★ミニテストや実力テストは必ず受けて、復習に活用。

既習分野であれば、

出題範囲のあるアクセス・短答基礎答練を活用して OK。

準備が多少不十分であっても、実力テストや各種答練は自分の決めた日程で受けてしまうこと！
本試験までに効率的・効果的に力を伸ばせる。
復習教材としても役立つ。

3 5 月目標の場合でも、12 月短答時点で計算の既習分野について自信を持って解ける状態を目指す。

復習時間は、受験する短答の2～5ヶ月ほど前までは財務計算・次いで管理会計に大きく充てて OK。

学習ペースの組み方

入門・BM期のポイント ゴールを知り、逆算する

短答式試験までの講義回数目安

※下記の上級講義等回数は23目標参考値
※「BM」…基礎マスターの略

BM+上級講義 合計

財務計算 入門Ⅰ…10回+補講1回、入門Ⅱ…5回
BM…全56回 (BMⅠ全15回、BMⅡ全17回、BMⅢ全12回、BMⅣ全12回)
上級…12回+補講3回ほど

管理会計論 入門…9回、基礎マスター…21回、上級…13回ほど

財務理論 基礎マスター…16回(2023年2月頃～)、上級…19回ほど

企業法 基礎マスター…26回、上級…16回ほど ※BM・上級講義でテキストを2周

監査論 基礎マスター…5回(2023年4月頃～)、上級…15回ほど

※BM・上級講義でテキストを2周

財務計算 71回

管理会計論 34回

財務理論 35回

企業法 42回

監査論 20回

- ★受験する短答式試験の3～5ヶ月前頃などまでに、計算科目の特に基礎マスターについて講義受講だけでなくトレーニング・実力テストの復習とテキストの復習。苦手な論点は、ミニテストを活用。
- ★短答式試験の遅くとも **2ヶ月～2ヶ月前**には下記講義受講を終わらせる。

短答式試験の2ヶ月ほど前から、短答直前答練など実践的な問題演習。最後の1ヶ月は特に暗記・回転。

講義受講・計算強化期のバランス例（短答5ヶ月前など）

自習時間 配分例（講義以外）

財務計算 55～70%

管理会計論 10～25%

企業法 3～10%

財務理論（2月頃～） 5～15%

監査論（4月頃～） 2～10%

使用教材

トレーニング・テキスト・ミニテスト・
実力テスト・パワーアップ問題・過去問集

トレーニング（詰まったら例題集）・テキスト

テキスト太枠・図・講義中のメモ書き、
ミニテスト、短答問題集（特に★付きのA）

章扉word・テキスト目次・テキスト・短答式確認問題・
論文式確認問題（テキスト想起のきっかけとして）

重要コンセプト・学習上のポイント・テキスト・
短答問題集

参考：社会人受験生の配分例

平日30分～2時間 休日3～5時間

平日15分～1時間 休日1～3時間

5分～15分（毎日又は2日に1度）

10分～30分 休日1～2時間

5分～10分（毎日又は2・3日に1度）

★平日にまとまった時間が取れない分、
こまめに場合分けて計算処理を想起。

- 復習所要時間のイメージ・・・1週間に受講した講義に対して、
計算科目は概ね1～3倍の復習時間（理論科目は0.5～2倍など）。
- 自習時間の15～40%などを数週間前の講義内容の復習（実力テストの準備、終わった基礎マスター範囲）に充てる。
曜日・時間帯を決めるのも◎。忘れていた論点の洗い出しにはミニテストを活用。

★受講ペースを上げる場合でも、講義週の計算トレーニング・実力テストまでの復習を徹底。
目次学習を活用。

★時間が限られる分、自習の負荷・頻度を上げてカバーする。

科目間のバランス例 短答5～2ヶ月前まで **TAC**

自習時間 配分例(講義以外)

復習時使用教材

財務計算 35～80%

アクセス・過去問集・答練・テキスト

管理会計論 20～40%

アクセス・答練・テキスト

企業法 10～20%

テキスト・短答問題集・答練

財務理論 (2月頃～) 10～20%

テキスト・章扉word・テキスト目次・
短答式確認問題・短答答練

監査論 (4月頃～) 10～20%

テキスト・短答問題集・短答過去問集

- 短答基礎答練に向けて、振り返る復習を並行して進める。
まだ計算重視。徐々に理論科目が増えていく。

科目間のバランス例 短答直前期 2ヶ月

TAC

自習時間 配分例(講義以外)

復習時使用教材

財務計算 15~25%

アクセス・過去問集・答練・テキスト

管理会計論 15~18%

アクセス・答練・テキスト

企業法 20~25%

テキスト・短答問題集・答練

財務理論 (2月頃~) 20~25%テキスト・章扉word・テキスト目次・
短答式確認問題・短答答練**監査論** (4月頃~) 18~20%

テキスト・短答問題集・短答過去問集

●計算科目は、一度固めるとメンテナンスの時間が低く抑えられる。

アクセスが実施される7~10月前半に掛けて、毎週出題範囲に従って丁寧に予習・受験・復習
直前期2ヶ月は、アクセスや答練で問題演習→テキストへ戻る。

▶自然と10-12日間ほどで論点を1周できる。

Ⅲ-Ⅰ アクセスについて

財務会計論

出題範囲表

準備の例

財務計算ポイントチェック

計算 基礎的な問題はある程度取れるが、
あと一歩足りない場合

管理会計論

出題範囲表・準備の例

テキストの場合分けを整理・暗記

財務計算アクセス 出題範囲表

※早稲田校は 7/9(日)以降朝 10 時-12 時 財務・管理まとめて実施

2024年合格目標 アクセス 出題予定表
短答対策 第1回～第15回

< 財務会計論 (計算) >

回数	出題内容
第1回	現金及び預金、有価証券、外貨換算会計、貸倒引当金
第2回	棚卸資産、有形固定資産、無形固定資産、投資その他の資産、研究開発費とソフトウェア
第3回	繰延資産、固定資産の減損、資産除去債務、退職給付会計、税効果会計
第4回	外貨換算会計、金融商品、ヘッジ会計、リース取引、引当金
第5回	社債、純資産の部、自己株式、新株予約権、新株予約権付社債、自己新株予約権、株主資本等変動計算書、分配可能額、ストック・オプション
第6回	収益認識、連結財務諸表
第7回	連結財務諸表
第8回	本支店会計、連結財務諸表
第9回	企業結合、事業分離
第10回	個別キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書
第11回	固定資産の減損、リース取引、会計上の変更及び誤謬の訂正、株主資本等変動計算書、連結財務諸表
第12回	連結財務諸表、企業結合、共同支配企業の形成、連結キャッシュ・フロー計算書
第13回	資産除去債務、税効果会計、四半期財務諸表、一株当たり情報、連結財務諸表、被結合企業の株主に係る会計処理
第14回	取締役の報酬等として株式を無償交付する取引、退職給付会計、連結財務諸表、セグメント情報、連結キャッシュ・フロー計算書
第15回	特殊商品売買、帳簿組織、伝票会計、連結財務諸表、企業結合、事業分離

基礎マスター
範囲

上級範囲

補講論点
(テキスト 10)詳細範囲は 24 目標から解答冊子末尾だけでなく
Web School「教材」欄にもアップ

2024年合格目標アクセス財務会計論 第1回出題範囲

出題分野	出題論点	2024年合格目標テキスト参照頁
現金及び預金	現金	基本テキスト① P 18
	現金過不足	基本テキスト① P 29
	預金	基本テキスト① P 40
	当座借越	基本テキスト① P 48
	銀行勘定調整表	基本テキスト① P 52
手形取引	約束手形	基本テキスト① P 66
	手形の割引	基本テキスト① P 80
有価証券	端数利息	基本テキスト① P118
	決算時の処理	基本テキスト① P126
	親会社株式	基本テキスト① P162
	株式分割・併合	基本テキスト① P164
	約定日基準と修正受渡日基準	基本テキスト① P180
	有価証券の保有目的区分の変更	基本テキスト① P186
	未収配当金	基本テキスト① P200
	その他資本剰余金の処分による配当を受けた株主の会計処理	基本テキスト① P202
	新株予約権の取得者側の会計処理	基本テキスト① P204
外貨換算会計	決算時の会計処理	基本テキスト① P219
	外貨建有価証券	基本テキスト① P242
貸倒引当金	貸倒時の処理等	基本テキスト① P286
	債権の区分	基本テキスト① P290
	貸倒見積高の算定方法	基本テキスト① P291

財務計算アクセス 準備の例

※詳しくは、財務計算アクセス→短答アクセス「オリエン」を視聴

各週アクセスまでに、該当範囲について…

- ① テキスト例題 をざっと復習。
簡単過ぎる例題は飛ばし、
必要と感じた例題はシートを使って解く。

- ② トレーニングの苦手な問題 に取り組む。

- ③ 過去問集のうち、該当範囲の易・中 を解けるようにしておきたい。

トレーニングとは異なる表現での出題に慣れる。
アクセス該当回までに解き切れなかった場合には
短答答練まで、など自分で期限を設定。

もしも余裕があれば…

パワーアップ問題で集計力を強化。 ★上記3つが優先。

構造論点のアクセス予習に適宜活用しても OK。余裕がなければ 12 月短答後。

準備が多少不十分であっても、
自分の決めた日程で受けてしまうこと！
本試験までに効率的・効果的に力を伸ばせる。
アクセス・答練自体が復習教材として役立つ。

★アクセスは点数よりも前後が重要！準備と分析・復習で得意論点に変えていく。

参考：財務計算「ポイントチェック」冊子・PDF

24 目標向けの新作教材。出先ですぐにテキスト要点を確認したい際に活用。

本試験当日確認する用にミスを一元化してもよい（シャープペンや消せるペン、付箋推奨）

第17章 リース取引

【リース取引（その2）】

○維持管理費用

- ・割引現在価値の計算に含めない（リース料総額から控除する）
※支払リース料＝リース債務＋利息相当額＋維持管理費用
- ・「維持管理費（販売費及び一般管理費）」として各期に費用計上する

○残価保証

- ・割引現在価値に含める（リース料総額に含める）
- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引において、減価償却計算の残存価額とする

【リース取引（その3）】

○貸手の処理

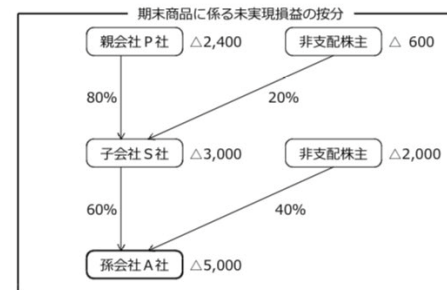
	リース取引開始日に売上高と売上原価を計上する方法	リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法	売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法
貸出	リース債務60,000 売上 高60,000 売上原価50,000 貸 出 金50,000	リース債務50,000 貸 出 金50,000	リース債務50,000 貸 出 金50,000
貸受	現金預金12,000 リース債務12,000	現金預金12,000 売上 高12,000 売上原価 8,799 リース債務 8,799	現金預金12,000 リース債務 8,799 受取利息 3,201
貸与	繰上引減価6,799 繰上引減価 6,799	—	—
期末	決算整理後残高試算表	決算整理後残高試算表	決算整理後残高試算表
	リース債務48,000 売上 高60,000 繰上引減価 6,799 繰上引減価6,799	リース債務41,201 売上 高12,000 売上原価 8,799	リース債務41,201 受取利息 3,201
B/S	貸借対照表	貸借対照表	貸借対照表
	リース債務41,201	リース債務41,201	リース債務41,201

- ・各期の利益はどの方法を採用しても同額になる
- ・所有権移転ならリース債務、所有権移転外ならリース投資資産を計上する
※リース取引が主たる営業取引の場合には流動、そうでない場合は一年基準により表示
- ・オペレーティング・リースの場合：リース料受取時に当該受取額を収益計上

第49章 連結財務諸表（間接所有）

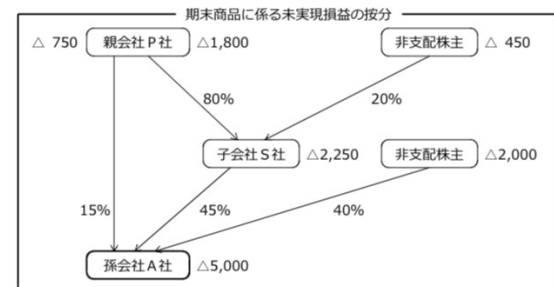
○ 孫会社が未実現損益を計上している場合（間接所有）

(借) 売 上 原 価	5,000	(貸) 商 品	5,000
(借) 非支配株主持分当期変動額	2,600	(貸) 非支配株主に帰属する当期純損益	2,600



○ 孫会社が未実現損益を計上している場合（直接所有＋間接所有）

(借) 売 上 原 価	5,000	(貸) 商 品	5,000
(借) 非支配株主持分当期変動額	2,450	(貸) 非支配株主に帰属する当期純損益	2,450



計算 基礎的な問題はある程度取れるが、あと一歩足りない場合

★例題を P/L・B/S 区分を意識して復習する。

★制限時間を縮めてみる。不要な下書きはないか？

過去問集を解いて計算テキストに無い記述があれば、理論テキストで併せて復習。

★今の自分にとって、少し背伸びする難易度の問題を解く。

負荷がかけられているか。

問題を解いたら、周辺の場合分けや相違点まで思い出す。

ごく簡単な問題や、数字を覚えるくらい解いた問題は？

→卒業するか、解法プロセスの想起に使う。

(トレーニングは、アクセスの進捗に従って、徐々に卒業していくイメージ)

財務会計論-計算テキストチェックゼミ (短答/論文向け 6 月から8月にかけて実施)

処理を場合分けて想起する際に活用。

アーカイブ資料・動画・・・Web School アーカイブ配信ページ

問題の例

Q

TAC

間接法によるC/S において調整する営業外損益・特別損益について、「小計欄以降のCFに係る」営業外損益・特別損益とされる。そこで、P/L 上は営業外損益または特別損益に計上されるが、間接法によるC/S における営業活動によるCFで調整されない項目をあげてください。

管理会計論アクセス答練 出題範囲表

2024年合格目標 アクセス 出題予定表 短答対策 第1回～第15回

< 管理会計論 >

回数	出題内容
第1回	費目別計算、部門別計算
第2回	製造間接費の配賦計算、個別原価計算、総合原価計算
第3回	総合原価計算、標準原価計算
第4回	標準原価計算、直接原価計算
第5回	管理会計総論、財務情報分析
第6回	CVP分析、予算管理、資金管理
第7回	原価管理、ABC/ABM、業務的意思決定
第8回	業務的意思決定、設備投資意思決定、分権組織とグループ経営
第9回	原価計算基準、その他原価計算編
第10回	原価計算基準、その他原価計算編
第11回	原価計算基準、その他原価計算編
第12回	原価計算基準、その他原価計算編
第13回	原価計算基準、その他原価計算編
第14回	予想問題（原価計算編）
第15回	予想問題（管理会計編）

8回目までで、上級範囲も含めてテキスト1周。

※詳しくは、管理アクセス 短答アクセス「オリエン」を視聴

準備方法

テキストで場合分けを整理・暗記。

テキストを思い出しつつ、
トレーニングが解けるように。

★解法プロセスが言語化できるか。

5回目以降は、該当範囲の短答理論問題集も進める。

1-4回目 計算問題のみ

5-8回目 計算・理論混合

9-13回目 原価計算編の理論問題のみ

14・15回目 計算・理論混合

Ⅲ-2 短答答練について

準備時のポイント

出題範囲

復習時のポイント

参考：短答直前期のポイント

短答答練 準備時のポイント

計算科目

- テキストで網羅的に処理点検。
- アクセスや苦手なトレーニング等の復習により、正確性・スピードが足りない論点の向上。

理論科目

- テキストで、基本的な概念・理屈を確認。苦手なところ・覚えにくいところを特定して付箋。
- テキストのうち、問われやすい箇所よくある問われ方を問題集等で把握し、テキストにチェック。

準備が多少不十分であっても、
自分の決めた日程で受けてしまうこと！

本試験までに効率的・効果的に力を伸ばせる。

アクセス・答練自体が復習教材として役立つ。

2024年合格目標 公認会計士講座【短答基礎答練】出題範囲一覧

【 確定版 】

Web School 学習フォロー⇒教材

科目	回数	出題範囲
財務会計論	第1回	【計算】基礎マスターⅠ～Ⅳの全範囲（上級講義の範囲からは出題しません）
		【理論】第1章 財務会計の機能と制度 ～ 第19章 連結会計
	第2回	【計算】基礎マスターⅠ～Ⅳの全範囲（上級講義の範囲からは出題しません）
		【理論】第1章 財務会計の機能と制度 ～ 第26章 棚卸資産の期末評価
管理会計論	第1回	基礎マスターの全範囲（上級講義の範囲からは出題しません）
	第2回	基礎マスターの全範囲（上級講義の範囲からは出題しません）
監査論	第1回	財務諸表監査総論（第1章）、監査の実施（第2章）、監査報告（第3章） 個別論点（第4章）
	第2回	財務諸表監査総論（第1章）、監査の実施（第2章）、監査報告（第3章） 個別論点（第4章）、保証業務（第5章）
企業法	第1回	テキスト①の範囲
	第2回	テキスト②の範囲・金商法テキスト

* 出題範囲は変更される場合がございます。予めご了承ください。

短答答練 解答時のポイント

【解答順の例】

理論部分 各問約2分ずつ



計算 簡単な問題(財務は個別→総合) ※手間が掛かる又は難しい問題は一旦飛ばす



飛ばした問題のうち、解けそうなもの

計算科目

- 問題文を読み、問われていることを整理し、手順を思い浮かべる。
- **論点や見た目ではなく**、あやふやな指示の有無・手順の量などから、解き進めるべきか判断する。
- 解き進める場合、正確性を意識して解く。

★計算は答練を通じて難易度の見極め・時間配分の練習をする(そのためには事前準備が重要)。

理論科目

- 問題文を区切りながら読む。誤りを探し、目印を付ける。比較的判断しやすい記述から手を付ける。
- 誤りの記述を2つ見つけ、消去法で○を選ぶ。○は積極的には判断しない。

★企業法・監査論は試験時間が15~20分ほど余るため(1問2分×20問など)、
誤りと考えた箇所・誤りの理由・正しくはどのような記述か、問題用紙に書き込むとよい。
正誤だけでなく誤りの論拠・判断過程まで合っているか、後で復習しやすくなる。

答練復習時のポイント(成績反映前)

- まず、難易度Aの問題について、**時間があったら解けたか？**
テキストを見ながらなら正解できたか？など復習。
 難易度Bの問題 ……どんな理解があれば正解までたどりつけたか？
 計算…なぜ難易度Bになっているか？分析(手間？論点の難しさ？)。
- 間違えた問題だけでなく、正解した問題についても復習。
 理論科目は記述ごとに。
 計算科目の難易度A…不安に感じた箇所はないか？下書きに向上の余地は？
 難易度B…**一旦飛ばせたか？**
 難易度B・Cに時間を掛けて、Aを失っていないか？
 理論科目 **誤りの論拠**は合っていたか？
 周辺知識・基礎概念につき理解できているか？

【計算科目間違えた問題の復習】★まずは正確性を意識。

- ex. 時間があれば解けた▶ 難易度の見極めや時間配分。
 もしくはスピード(処理を想起するスピード)
- ex. テキストを見ながらなら解けた▶ インプットの穴や反復練習・答練前のメンテナンス不足。
- ex. ひっかかった・やらかしミス▶ 論点確認と、やらかしミスの内容に応じて具体的な対策。

12月短答答練・模試の成績判定目安

※成績判定を厳しめに変更している。

偏差値

合格可能性の目安

(直近4年間の模試・答練のデータと本試験結果を参考に算定)

62— A判定

8割

60— B判定

7割

58— C判定

6割

55.5— D判定

4割 ※平均から1・2問多く正解するレベル

55.5未満 E判定

(A～D判定までの累計で5割など)

E判定から合格するケースも多い。本試験までにつぶし続ける！

受験者の正解率40%以上を全て取ると…A判定を超え、ボーダーを気にせず余裕を持って合格できる水準。

★模試がA判定でも本試験で成績が下がる大きな要因…最後の2週間の過ごし方。
科目の偏りなく、計算のメンテナンスなど含めバランス良く進める必要がある。

まずは重要かつ苦手な論点に取り組む



直前期は得意な論点も点検

★みんなが取れる問題を正解できるようにする！

答練復習 成績反映後のポイント

★みんなが取っている問題を確実に取れているか、分析。

●「正解状況診断データ」を確認(web school「学習記録」「成績表」)。

難易度Aと、
正解率40%以上の問題を
全て取ること为目标とする。

★点数がある程度取れている場合に要注意。

※理論科目は、
正解率40%未満や
難易度B・Cについても
本試験までにはおさえる。

正解状況診断データ

2023/05/15 現在

財務会計論	テーマ	解答	正解	判定	配点	正解率(%)	難易度
問題5	理：負債会計	3	3	○	8	80.5	A
問題7	計：純資産	6	6	○	8	73.9	A
問題16	計：リース取引	5	5	○	8	73.6	A
問題4	理：財務会計の基礎概念	1	1	○	8	73.1	A
問題1	理：概念フレームワーク	3	3	○	8	66.9	A
問題2	計：棚卸資産－売価還元低価法	2	2	○	8	66.5	A
問題17	計：退職給付会計	5	5	○	8	64.7	A
問題15	計：ストック・オプション	5	4	×	8	58.9	A
問題23	総：売上総利益	3	3	○	4	58.3	B
問題28	総：資本剰余金	3	3	○	4	57.1	A
問題13	計：有価証券	4	4	○	8	57.0	B
問題9	計：1株当たり情報	2	2	○	8	53.8	A
問題20	理：退職給付会計	1	1	○	8	52.8	A
問題25	総：非支配株主帰属当期純利益	1	1	○	4	52.0	B
問題21	計：企業結合	3	2	×	8	47.9	B
問題19	理：リース取引	1	1	○	8	45.0	B
問題26	総：その他の包括利益	6	6	○	4	45.0	A
問題10	理：収益認識	3	3	○	8	43.1	A
問題14	理：固定資産の減損	4	4	○	8	42.3	B
問題18	計：連結財務諸表－包括利益	3	3	○	8	40.8	B
問題11	計：キャッシュ・フロー計算書	5	4	×	8	38.3	B
問題27	総：利益剰余金	2	1	×	4	31.7	B
問題3	計：有形固定資産	4	5	×	8	30.7	B
問題8	計：特殊商品売買－割賦販売	3	4	×	8	30.2	C
問題12	理：金融商品会計	3	3	○	8	25.9	A
問題24	総：販売費及び一般管理費	3	4	×	4	22.5	C
問題22	理：企業結合	3	2	×	8	21.9	A
問題6	計：個別論点－流動負債	1	2	×	8	13.9	C

【参考】短答直前期(10月頃～)のポイント

1. テキストの理解を土台として、暗記を詰めて行く。暗記箇所や苦手な箇所はふせんを貼るなど、強弱を付ける。
2. 残りの答練・全国模試を通じて、時間配分や試験中の行動などを修正。
正解した問題・記述についても、あやふやな点がないか丁寧に復習する。
3. 毎日全科目取り組む。得意科目を放置しない。特に直前2週間は、財務計算・管理計算のアウトプット練習(正確性・スピードの維持)とテキスト等で論点1周確認。
4. 体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

10月中旬 短答直前答練2



11月第3週頃 短答全国公開模試



11月下旬 短答直前答練3



2023年12/10(日) 短答式本試験

自分なりに仕上げた状態で受ける。難易度Aや正答率の高い問題の得点状況の分析。やらかしミスゼロにしていく。

模試当日が本試験でも構わない状態が理想。
※ 模試前に完璧に覚えたものも、放置すると3週間で抜けてしまう。
知識・記憶が新鮮な状態になるように再度点検しておく。

暗記&計算メンテナンス。特に最後の2週間は、計算科目の論点1周を意識(&やらかし対策として適宜実際に解く)。

いつでも頭から知識が取り出せる状態に。

巻末資料

主なサポート制度

24 目標質問オープンチャット（財理・監査論・学習法）

5 月短答参考資料

各種サポート (Web School トップページ参照)

TAC

1. 情報提供

- 公式LINE
- 定期的なオンラインセミナー

学習に不安がない場合も
短期・中期目標設定のため
利用。



会計士講座
Twitter

2. 1対複数の相談対応

- オンライン質問ルーム(挙手やチャットで質問可能・見学参加もOK)
- LINEオープンチャット(上級期から、学習法・財理・監査論につき開設)

3. 1対1の相談対応

通信生も、校舎の質問コーナー利用OK！

- オンライン/対面質問コーナー
- Web School 質問メール
- 個別成績・学習方法相談(毎週土曜13時翌週分のみ予約受付。

不明点は、
Web School「問い合わせ」など
各種窓口へ

事前に直近のオンラインセミナー資料を参照)

- 就職サポート(フリーダイヤル0120527699/
メールcounselor@tac-school.co.jpで随時対応)

1対1の相談時、より具体的な話ができるように...

★質問・相談前に、直近で実施したオンラインセミナーの資料確認(できれば動画冒頭30分程も視聴)

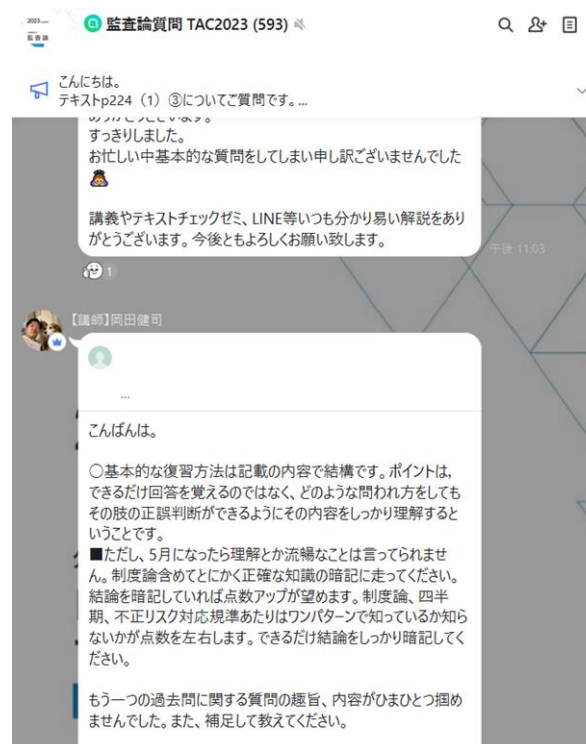
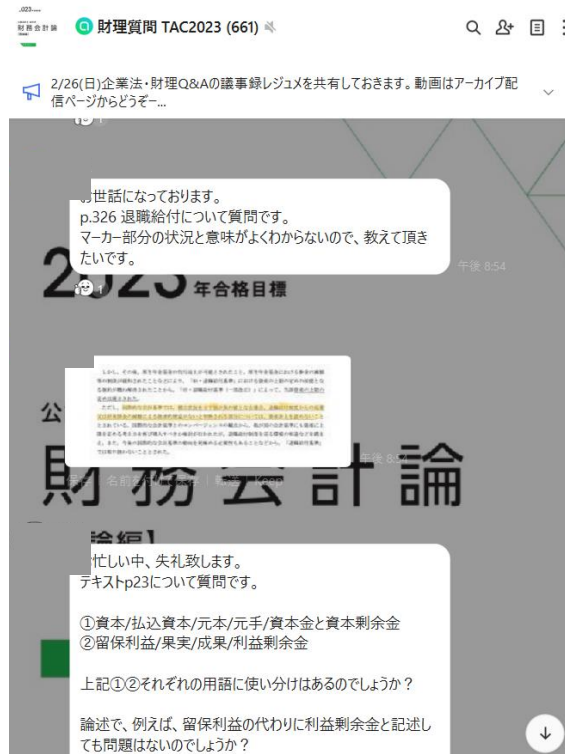
★相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き/答案等を持参

LINE オープンチャット 財理・監査論・学習法（7月 24 目標始動済み）

掲示板のような形式で、匿名で講師に質問できる。画像貼付も可能。

対応講師 財理・学習法：平林 監査論：岡田

参加方法・・・Web School「講座からのお知らせ」欄 最新イベント情報



転職・専念するか・就活と並行するかなど 進路に迷っている場合

フリーダイヤル・メールで相談可能。

TAC 就職サポート 0120-527-699 | 受付時間
月～金 14:00～17:00

counselor@tac-school.co.jp

予約不要・随時対応。

平日日中以外も、
メールで希望日時をいくつか伝えていただければ、
平日夜などに zoom/電話相談も調整可能。

TACのサポート制度まとめ

公式 LINE や定期セミナーにより、自力で **ゴールから逆算** やある程度立て直しができるように。

学習中不安になった時も…

LINE オープンチャットや、

予約不要の zoom 質問ルーム（1 対複数・匿名参加 OK）、

質問コーナーや質問メールなどで

講師に直接聞いて疑問・不安が解消できる。

チューターも様々な校舎に待機（オンライン質問ルームにも待機有り）。

【大学受験との相違点】

特に論文期に入ると、理論科目で

答案のフィードバックを受ける機会が重要になる。

質問コーナーや zoom 質問ルームを活用。

★本格的な受験の経験値が少ない場合、
学習法が確立できておらず不安で学習に集中し辛い。
サポート体制をフル活用する。

まとめ

8月は計算を重視!

9月末にかけて問題演習を通じてテキストの理解を固める。
回転の下準備。

短期集中生は、早稲田校の日程などを参考に進める。

参考:令和5年 短答式試験(2023 年5月実施)

正解率 40%以上を全て正解すると…

財務会計論 152点 理論 64点 8/10問

計算 88点 個別9/12問 連結4/6問

管理会計論 理論 35点 7/8問(問1以外)

計算 22点 3問

※さらに 30%ほどの標準(8点)と資金管理(7点)も
どちらか取ると 57+8 又は 7点→65点ほど

監査論 80点

企業法 75点

合計点数 364点(72.8%)

管理で標準(8点)と資金管理(7点)どちらか取ると 371点 (74.2%)

実際のボーダーラインは69% (TAC 予想ボーダーは 69-71%)

参考：令和5年短答Ⅱ 各科目のポイント ★理解、暗記/ピーク合わせ、試験中の行動

企業法

難易度 A を、金商法も含めて取れたか？

正しい記述について条文の趣旨をおさえ、正しい記述を判断できたか？→75/80 点など

管理会計 難易度 A 全て取ると→57 点

理論

企業法を引きずらずに切り替えられたか？

難易度 A の理論を取り切れたか？

思い出すスピードは遅くなかったか？

計算 詳しくは、岡本講師セミナー「何を変えれば短答に合格できる？」開始 40 分以降を視聴

費目別計算で、見慣れない指示で焦らず一旦飛ばせたか？(正解率 27%)

個別・CVP で正確に正答できたか？(51・41%)

総合(A 47%)について、組別も手薄にせず、正確に正答できたか？

標準(B 29%)で、理屈で選択肢を絞り正答できたか？→64 点

資金管理(B 31%) 手薄にせず、残った時間で正答できたか？→72 点

監査論

問題 1. 2. 9-20 までの難易度 A を取り切れたか？→13 問、65 点になるはず

短答フォロー講義テキストや要求事項の正確な知識や趣旨の理解などで

正解率が特に高い難易度 B の問 7・問 9 などが正答できたか？→75 点以上になる

財務計算

難易度 A を確実に取れたか？難易度 B について、財務理論の表示区分の知識等を使って落ち着いて解けたか？

財務理論

難易度 A の 8 問を確実に取れたか？

計算や短答確認問題集の問題（連結子会社の判定）の知識を使って、あまり時間を掛け過ぎずに取り組めたか？

【 M E M O 】